

前橋東高校サッカー部 活動速報 R6.7月～11月

○ 夏休みの活動

孺恋合宿 (7/26～28)

7月26日(金)から28日(日)の3日間、孺恋村バラギ高原で合宿を行いました。県内、県外チームと試合を行いながら、合間にキャベツ畑が広がるパノラマラインを走り、3日間で約40キロを走りました。毎年この合宿を乗り切ると1、2年生はフィジカル、メンタル共に大きく成長します。今回の合宿で得た自信を胸に残りの夏休みも個人として、チームとして成長してほしいです。



飯能サマーカップ (8/2～5)

8月2日(金)から5日(月)の4日間、飯能サマーカップに参加しました。例年埼玉県内で合宿を行っていましたが、今年は日帰り4日間1、2年生のみで参加しました。埼玉県の学校を中心に県外の強豪チームとの試合を通して課題が多く見付き、有意義なものとなりました。連日猛暑の中でしたが、選手は声を掛け合いながら逞しくプレーし、大きな成長を感じさせる4日間でした。

湯沢サッカーフェスティバル (8/20～21)

8月20日(火)、21日(水)と1泊2日で湯沢サッカーフェスティバルに参加しました。群馬県内の8チームが参加し、午前、午後と交流戦形式で試合を行いました。涼しい環境の中、夏休みの強化の成果を試す場として有意義な時間となりました。サッカー以外の生活面も自発的に考えて行動できる場面が増え、成長を感じました。夏休みも残り僅かですが、リーグ戦、選手権予選に向けて仕上げたいです。

○ 高円宮杯 U-18リーグ2部 Aブロック (全日程終了)

〈第1節〉 vs 伊勢崎商業	1-1	△	(0-0・1-1)	R6. 3/16
〈第2節〉 vs 利根商業	4-1	○	(3-0・1-1)	R6. 3/20
〈第3節〉 vs 西邑楽	2-0	○	(0-0・2-0)	R6. 3/23
〈第4節〉 vs 安中総合	10-0	○	(7-0・3-0)	R6. 4/6
〈第5節〉 vs 健大高崎C	5-3	○	(2-3・3-0)	R6. 4/13
〈第6節〉 vs 前橋	0-2	●	(0-2・0-0)	R6. 4/20
〈第7節〉 vs 常磐B	3-2	○	(1-0・2-2)	R6. 5/18
〈第8節〉 vs 伊勢崎商業	3-1	○	(3-0・0-1)	R6. 6/22

〈第9節〉 vs 利根商業	2-4	● (0-1・2-3)	R6. 9/16
		得点者 片桐×2	
〈第10節〉 vs 西邑楽	0-2	● (0-0・0-2)	R6. 9/28
		得点者 なし	
〈第11節〉 vs 安中総合	8-0	○ (0-0・8-0)	R6. 10/5
		得点者 オウンゴール 片桐 小林×6	
〈第12節〉 vs 健大高崎C	1-1	△ (1-0・0-1)	R6. 11/10
		得点者 小林	
〈第13節〉 vs 前橋	6-0	○ (2-0・4-0)	R6. 11/16
		得点者 小林×2 降旗 原口 藤本 埜	
〈第14節〉 vs 常磐B	2-1	○ (1-0・1-1)	R6. 11/23
		得点者 小林×2	

【結果】 勝点29 ブロック3位

〈順位決定戦〉 vs 市立前橋	0-0	(0-0・0-0)	R6.11/30
	PK 〈2-4〉	● 得点者 なし	

【結果】 2部 第6位

☆ 夏休み明けの2試合は3年生の引退、そして久しぶりの公式戦ということもあり、悔しい結果に。しかし第11節、残留した3年生を中心にチーム一丸となり、後半の大量得点で連敗を止めました。その後の3試合も無敗で乗り切り勝点7を稼ぐも自動昇格となるブロック2位とは2差及ばずAブロック3位という結果になりました。今シーズン最終戦となるBブロック3位との順位決定戦も0-0のままPK戦にもつれ込むも敗れ、昨年と同じ2部第6位で今シーズンの戦いを終えました。振り返ると第9節、10節の連敗が響く形となりましたが、負傷者や出場停止者が出た試合でもあり、改めて選手層の底上げの必要性を痛感しています。その上で拮抗した試合を勝ち切ることを課題に冬の強化に臨みたい



○ 高円宮杯 U-18リーグ3部 順位決定リーグ(6位リーグ)

〈第1節〉 vs 渋川	1-2	●	(1-1・0-1)	R6. 9/28	得点者 柴田
〈第2節〉 vs 伊勢崎商業 B	2-1	○	(0-1・2-0)	R6. 10/5	得点者 三坂 阿久津
〈第3節〉 vs 藤岡工業	2-3	●	(0-1・2-2)	R6. 11/10	得点者 樹下 渡邊
〈第4節〉 vs 四ツ葉学園	3-3	△	(1-1・2-2)	R6. 11/23	得点者 三坂 渡邊 石原 /中央中等

☆ 多くの3年生が引退したことで3部はまた毎試合人数ギリギリでの試合になりました。その中で選手達は公式戦に出場できる喜びを力に変え、2節は見事な逆転勝利を収めました。その後の2試合は複数得点を挙げるも簡単なミスからの失点が目立ち、勝ち切る事ができませんでした。公式戦の中で経験したことをトレーニングで意識し、トップチームに絡む選手が一人でも多く出てほしいです。

○ 第103回全国高校サッカー選手権群馬県予選 ベスト12

〈決勝 T1回戦〉 vs 館林	2-0	(1-0・1-0)	○	R6. 10/12
	得点者	小林×2		
〈決勝 T2回戦〉 vs 渋川工業	1-0	(0-0・1-0)	○	R6. 10/14
	得点者	小林		
〈決勝 T3回戦〉 vs 前橋商業	0-6	(0-1・0-5)	●	R6. 10/19
	得点者	なし		

☆ インターハイ予選でベスト16に進出したため一次予選免除となり、決勝トーナメントからの出場となりました。1回戦はインターハイ予選に続き館林高校との対戦に。前半の良い時間帯に先制点を挙げ、後半貴重な追加点を奪い2回戦に駒を進めました。2回戦の渋川工業高校は1回戦大量得点で勝利しており、序盤からその勢いに押される展開に。ロングスローやコーナーキックから肝を冷やす場面がある中、GK、DF陣を中心に粘り強く守りながら前半終了間際に決定機を迎えるも決めることができず試合は後半へ。後半も拮抗した試合となるも、終了間際ワンチャンスを決めきりこれが決勝点に。2年連続3回戦に駒を進めました。3回戦の相手はプリンスリーグ関東2部所属の前橋商業高校。格上の相手にも怯むことなく戦おうと選手たちはピッチに立つも開始早々に先制点を奪われてしまいました。その後は守備の時間が長くなるも、全員で体を張り0-1のまま後半へ。しかしギアを上げてきた相手の猛攻に耐え切れず失点を重ねてしまい、終わってみると大量失点での完敗となりました。基本技術、判断、フィジカル、運動量とすべてにおいて差を見せつけられましたが、選手たちは最高の舞台上で最後までフェアに全力でプレーし、積み上げてきたものを披露してくれました。特に4人の3年生の存在は頼もしく、後輩達に多くのものを残してくれました。お疲れ様でした。そして保護者の方々、学校関係者、OB等多くの方々の応援に感謝します。ありがとうございました。

